

令和5年度

事業計画書及び収支予算書

公益財団法人 千歳青少年教育財団

目 次

◆ 令和5年度事業計画書	1
I 公益目的事業		
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	3
3 教育機関支援事業	4
◇ 水族館管理運営事業	5
1 サケのふるさと千歳水族館管理運営事業	5
2 年間パスポート会員の募集	8
3 情報提供活動	8
◆ 令和5年度収支予算書	9
◇ 収支予算書	10
◇ 正味財産増減予算書	16
◆ 令和5年度資金計画書	21

令和 5 年度事業計画書

事業計画書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

I 公益目的事業

◇ 教育事業

定款第4条第1項第1号及び第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 学習講座開設事業

(1) 千歳水族館学習事業

ア サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～

小学校高学年から中学生までを対象とし、早朝の千歳川サケ遡上観察やサケの調理体験など、千歳水族館においてサケシーズンならではの宿泊学習を行う。
(10月上旬、1泊2日)

イ サケふるセミナー

土・日・祝日を中心に、小学生や親子などの一般来館者を対象にサケの採卵などの体験プログラムやサケ皮クラフトなどの工作プログラムのほか、外部機関と連携した教室を開催する。

(2) ジュニア・リーダー活動事業

ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化を目指し、その中心的な役割を果たすジュニア・リーダーの養成講習会を初級・中級・上級の3段階に分けて実施する。また、千歳水族館や魚についての講習会も行い、水族館学習支援活動に必要な基礎知識を学ぶ。(4月、9月に前期2回、12月、2月に後期2回の合計4回)

イ ジュニア・リーダー交流会

講習会以外にジュニア・リーダー同士が集う場を設け、シニア・リーダーも参加して互いに交流しながら、シニア・リーダーの活動内容について学び、リーダーとしての意識を高める。(不定期)

(3) シニア・リーダー活動事業

ア 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会

石狩管内子ども会シニア・リーダー及びシニア・リーダーに準じる会員が一堂に会し、レクリエーションの技術交換研修や活動の情報交換をしながら子ども会活動を推進、支援するリーダーの資質向上を目指す。(9月中旬)

イ シニア・リーダー研修会

子ども会活動及び千歳水族館学習活動を支援するシニア・リーダーが、事業の企画・立案・運営方法の研修を通して、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える能力の育成を図る。(3月中旬)

ウ シニア・リーダー交流会

道内各地のシニア・リーダーとの交流・情報交換を行うことにより、リーダー間のネットワークの構築と相互の研鑽を図る。（不定期）

エ シニア・リーダーわくわく体験教室

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を活かして、千歳水族館の入館者を対象に工作教室などを開催しながら、自分たちの活動について広くPRする。（不定期）

オ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を活かして、青少年育成に係わる様々な事業への支援活動を積極的に行う。（随時）

(4) 夏休み自然体験教室 ～日高編～

小学校高学年から中学生までを対象とし、「千歳水族館」または「日高青少年自然の家」に宿泊して自然体験教室を行う。令和5年度は日高青少年自然の家に宿泊し、自然体験を通して、団体生活の規律を身に付ける。（夏休み期間中、1泊2日）

(5) 体験学習

小学生及びその保護者を対象に、千歳市の特産食材やサケなどの生物、自然に関する観察会や体験教室などを行い、地域への関心、知識を深める。（6月、10月）

(6) 冬休み体験教室

冬休み期間中、小学校4年生から中学校3年生までを対象に、日高での集団宿泊生活や冬季ならではの体験や社会見学等を通して、団体生活の規律を身に付ける。（1月上旬、2泊3日）

2 社会教育関連事業

(1) 千歳青少年育成推進員の設置

市内の地域における児童の健全育成対策及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、千歳青少年育成推進員を設置し、社会教育関連事業や地域の子どもの活動に協力する。（委嘱期間2年・令和5年度は委嘱2年目）

(2) ラジオ体操講習会（千歳市子ども会育成連合会共催）

夏休みの前に正しいラジオ体操の指導方法を学ぶため、町内会等の指導者、ラジオ体操に興味のある一般の方を対象に、NHKラジオ・テレビ体操の講師を迎えて講習会を開催する。（7月上旬）

(3) 緑の村キャンプ大会（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

野外活動や宿泊生活を通して、協力・助け合いの精神を養うとともに、地域や学校を越えた子ども同士の友情を深めるため、町内会と一般で募集し、開催する。一般は小学校高学年から中学校3年生までを対象に実施する。（7月中旬～下旬）

(4) ちとせの子どもクリスマスの集い（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

幼児、小学校・中学校の子どもたちを対象に、クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通して、相互の親睦を深める。（12月上旬）

- (5) ちとせっ子雪あそび(千歳市子ども会育成連合会共催事業)
冬期間運動不足になりがちな子どもたちの体力向上・健康増進を図るため、小中学生を対象に、道の駅サーモンパーク千歳のイベント広場を中心に屋外で雪を利用したレクリエーションゲームを行う。(2月上旬)

3 教育機関支援事業

- (1) 総合的な学習などへの協力
小中学校の「総合的な学習」に対応し、「サケのふ化観察学習」や「放流体験」「人工採卵・受精体験」「水生生物観察」「アイヌ文化学習」など、地域特性を生かした多様な学習活動に積極的に協力するとともに、市内小中学校からの要請に応じて学芸員が出前講座に対応するなど、学校との連携を深める。
- (2) 職業体験への協力
小中学校の職業体験や、専門学校生、大学生のインターンシップ、博物館相当施設として学芸員実習などを受け入れ、各種教育機関に幅広く研修の場を提供する。
- (3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力
千歳中央ライオンズクラブが主催する市内小学生と岡山市の小学生とのサケ稚魚の飼育・放流事業に協力する。(1月～3月末)
- (4) 各種生涯学習関連事業への協力
市内や札幌市などで開催される各種生涯学習関連事業に協力し、体験メニューなどを盛り込んだブースを出展する。

◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 サケのふるさと千歳水族館管理運営事業

(1) 常設展示

ア 水槽展示

水量266トンの大水槽をはじめとする大小約40基の水槽で、淡水・汽水域に生息する水生生物約100種を展示する。サケ科魚類だけでなく、国内外の淡水魚類や水生植物、哺乳類のアメリカミンク、鳥類のカイツブリ、爬虫・両生類、水生昆虫など、河川生態系を構成する生物種を中心に幅広く展示し、生物の多様性や水辺生物への興味関心を高める。

イ 体験コーナー

ウグイ属とチョウザメ類のタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）体験水槽、開放的なカイツブリのドーナツ型流水水槽など、来館者が水辺の生き物と接し、より身近に感じることができる場を設ける。

ウ 大型スクリーン解説映像

およそ100インチの大型スクリーンを用い、千歳川を中心に撮影したサケの生活史や人工ふ化放流事業などについて、約5分間の映像で紹介する。映像は2ブースで上映し、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外の来館者にも対応する。

エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、千歳川の生き物やその営み、四季折々の環境の変化などを観察する。また、DVDやコンピュータを用いた映像機器などにより、サケの生態や水中観察窓の生物などに関する解説コーナーを設置し、千歳川の魅力を伝え、生物や環境保全へのより深い理解を図る。

オ なるほど!?サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

千歳におけるサケと人との関わりについて、サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業、また千歳アイヌの歴史や文化などを中心にパネルや映像を使って解説する。また、日本各地の伝統的なサケ料理法や様々なサケ料理のレシピも紹介する。

カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を利用し、採卵実習などの各種体験教室の場として、また幼稚園や学校団体の見学時の講話や質問対応、雨天時の昼食場所など、幅広い活用を図っていく。

(2) 企画展示

ア 企画展示

館内のスロープを利用し、常設展示とは異なる様々な生物や環境問題などをテーマとした展示や、写真、絵画等幅広い分野にわたる作品展などを開催し、新たな話題を提供することでリピーターの創出を図る。

イ サケの成長過程による季節展示

親魚が河川遡上する秋季にはサケやカラフトマス、ベニザケなどサケ属の成熟親魚を、また卵からふ化に至る冬季には、卵の発生過程やふ化、仔魚から稚魚への成長の様子など、各季節の成長段階に合わせた展示を行う。

(3) 各種体験学習及びイベント

ア 水族館裏方探検隊（バックヤードツアー）

希望する学校団体やバックツアーなどを対象に、水族館の裏側探検やエサやり体験、また季節によっては展示水槽へのサケ搬入体験などを実施し、水族館についての理解を深める。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使った靴のミニチュアやしおりなどの製作を通じ、サケを無駄なく利用したアイヌ文化の一端に触れる。

ウ サケ稚魚放流体験

サケの回遊ルートやその生態の解説とともに、実際にサケ稚魚の放流を体験し、サケ及び人工ふ化放流事業への理解を深める。（3月～5月）

エ 季節のイベント・体験

ゴールデンウィーク、ハロウィン、鮭の日、クリスマス、お正月などの季節行事に合わせた特別展示を行うとともに、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施する。

オ 飼育係ちょこっと体験

冬休みや春休み、土・日・祝日などを中心に、有料でエサやり体験やバックヤードツアーなど、水族館の飼育業務に関する体験を行う。

カ 海と日本 Project 関連事業

回転寿司の北々亭千歳店と協力し、寿司ネタを通してサケの生態や食糧資源としての現状を学ぶ。

キ ホタルのタベ

市内に生息するヘイケボタルについて、成虫が羽化する7月下旬から8月上旬の期間限定で、生態や生息状況等の解説とともに、飼育下における発光の様子などを観察する。

(4) 入館者の拡大推進

入館者の拡大を図るため、館内の魚類等を含めた生体展示の充実に努め、各種企画展やイベントを開催するとともに、次の取組を実施する。

令和5年度入館者数の目標 : 250,000人(内、有料入館者 152,000人)

ア 団体誘致活動

全国主要都市の旅行代理店等に、修学旅行、団体旅行の誘致に向けたプロモーション活動を展開する。

札幌市内を含む近隣市町の幼稚園・保育園・福祉施設等に、当館及びイベント等のPR活動を実施する。

また、(一社)千歳観光連盟や(公社)北海道観光振興機構が実施する道外及び海外への観光プロモーションに参加する。

イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Webメディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、レンタカー、観光施設等にポスターの掲示やPRパンフレットの配置を行う。

ウ 多言語システムの充実

海外からの小団体旅行(FIT)などに対応するため、スマートフォンやタブレットにインストールする専用アプリ“LinkRay”を利用し、展示水槽や生物について英語、繁体語、簡体語、韓国語、タイ語の多言語による解説を閲覧可能とする。また受付においては、多言語に対応した音声翻訳機を接客ツールとして利用する。

エ 音声ガイドシステムによる解説

来館者が自身のスマートフォンやタブレットで利用できる、体験型音声ガイドアプリ「Pokke(ポッケ)」に、千歳市出身の声優・鈴木愛奈さんのナレーションによるサケや千歳水族館の展示生物に関する音声ガイドを登録し、入館者に無料にて提供し、水族館見学における満足度の向上を図る。

オ ネットワークカメラによるライブ映像配信

入館の動機付けのため、公式ホームページにおいてリアルタイムで水中観察窓及びインディアン水車(千歳川)の状況を配信する。

カ 市内小中学生年間パスポートの無料化

市内小中学生の年間パスポート等の無料化を継続し、子どもたちへのサケ科魚類等の教育普及を図るとともに、保護者等同伴者も含めた入館者の拡大を図る。

キ 道の駅機能との連携強化

道の駅スタンプラリー帳持参者に対する優待料金の通年適用や、道の駅と水族館の両施設を回遊する取組の実施など、道の駅とのコラボ企画等の強化に努める。

ク 来館者のサービス向上の取組

来館者の満足度向上を図るため、館内に売店を設置し、水族館のグッズやサケふるオリジナル商品などを提供する。

(5) サケのふるさと村教授会との連携

水族館のボランティア組織として、館内の案内業務や各種行事の支援を依頼している「千歳サケのふるさと村教授会」の活動を、メンバー募集や研修面などにおいてサポートし、さらなる連携強化に努める。

2 年間パスポート会員の募集

(1) 個人会員

加入日から1年間何度でも入館できるパスポートを個人に発行し、会員同伴者への団体割引料金を適用する。

年会費 : 大人・高校生 1,500円 小中学生 500円

令和5年度 個人会員 目標 : 6,000人

(2) 法人会員

加入日から1年間1回5名まで何度でも入館できるパスポートを企業・団体等に発行し、6名以上の同伴者の団体割引料金適用や、法人名を表記したプレートを水族館入口に掲示する。

年会費 : 1口 10,000円

令和5年度 法人会員 目標 : 100口

3 情報提供活動

(1) サモン君だより

館内の展示や観察窓の状況、各種イベントのお知らせなどを掲載した「サモン君だより」を毎月ホームページに掲載して情報を提供する。

(2) ホームページ及びSNSによる情報発信

公式ホームページと、Facebook、Twitter、Instagram、YouTube、LINEの各SNSに加え、Googleマップと連携したGoogleマイビジネスを活用し、イベントや企画展示、水中観察ゾーンの状況、サケに関するQ&Aなど様々な情報を発信する。また、無料の電子旅行雑誌「旅色」に施設情報を掲載し、より広範囲への情報配信を図る。

(3) サモンメール

インターネット接続環境をもつ希望者に対し、展示状況やイベントなどのリアルタイムな情報をe-mailによるメールマガジンにて配信する。

令和 5 年度収支予算書

収 支 予 算 書 (総 括 表)

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

(単位 : 千円)

大 科 目	公益目的事業 会計	法人会計	合 計	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	0	1	
② 特定資産運用収入	6	0	6	
③ 事業収入	96,947	0	96,947	
④ 会費収入	9,100	0	9,100	
⑤ 補助金等収入	149,848	12,474	162,322	
⑥ 雑収入	51	0	51	
事業活動収入 計 (A)	255,953	12,474	268,427	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	234,035	0	234,035	
② 管理費支出	0	12,367	12,367	
事業活動支出 計 (B)	234,035	12,367	246,402	
事業活動収支差額 (A) - (B)	21,918	107	22,025	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	40,100	0	40,100	
投資活動収入 計 (C)	40,100	0	40,100	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	43,898	107	44,005	
② 固定資産取得支出	18,120	0	18,120	
投資活動支出 計 (D)	62,018	107	62,125	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△21,918	△107	△22,025	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出 計 (F)	0	0	0	
財務活動収支差額 (E) - (F)	0	0	0	
当 期 収 支 差 額	0	0	0	

収 支 予 算 書（公益目的事業会計）

（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

（単位：千円）

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	1	0	
1 基本財産利息収入	1	1	0	
② 特定資産運用収入	6	6	0	
1 特定資産利息収入	6	6	0	
③ 事業収入	96,947	73,071	23,876	
1 教育事業収入	947	913	34	参加者負担金
2 水族館管理運営事業収入	94,500	71,158	23,342	水族館入館料外
3 体験料収入	1,500	1,000	500	餌やり体験料外
④ 会費収入	9,100	8,155	945	
1 個人会員会費収入	8,100	7,155	945	
2 法人会員会費収入	1,000	1,000	0	
⑤ 補助金等収入	149,848	145,106	4,742	
1 教育事業補助金収入	24,705	24,340	365	
2 水族館管理運営事業補助金収入	81,245	81,641	△396	
3 特定資産取得補助金収入	43,898	39,125	4,773	
⑥ 雑収入	51	51	0	
1 運用財産利息収入	1	1	0	
2 雑収入	50	50	0	
事業活動収入 計（A）	255,953	226,390	29,563	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
2 事業活動支出				
① 事業費支出	234,035	207,555	26,480	
1 教育事業費支出	25,653	25,254	399	
役員報酬支出	393	320	73	教育事業費支出の説明 人件費 19,640 車両リース等経費 922 サーモンツアー経費 92 サケふるセミナー経費 55 ジュニア・シニアリーダー講習会経費 848 夏休み自然体験教室経費 337 体験学習経費 250 冬休み体験教室 607 青少年育成推進員経費 919 緑の村キャンプ経費 929 ちとせの子どもクリスマスの集い経費 92 ちとせっ子雪あそび経費 112 子ども会関係経費 406 その他経費 444
給料手当支出	16,238	15,954	284	
福利厚生費支出	3,009	2,891	118	
報償費支出	1,614	1,614	0	
旅費交通費支出	93	109	△16	
通信運搬費支出	124	124	0	
消耗品費支出	839	866	△27	
印刷製本費支出	44	44	0	
光熱水費支出	42	38	4	
使用料及び賃借料支出	843	858	△15	
車両経費支出	923	993	△70	
保険料支出	168	165	3	
手数料支出	4	4	0	
食糧費支出	717	684	33	
負担金支出	533	521	12	
雑支出	69	69	0	
2 水族館管理運営事業費支出	208,382	182,301	26,081	
役員報酬支出	1,179	958	221	水族館管理運営事業費支出の説明 人件費 77,139 施設維持管理経費 59,881 宣伝活動費 17,280 租税公課 11,785 クーポン券等手数料 1,763 展示魚収集飼育経費 3,567 入場券印刷経費 1,281 車両リース等経費 2,472 イベント開催経費 4,088 電話郵便等通信費 939 電気・機械設備等修繕費 23,705 調査研究費 587 その他経費 3,895
給料手当支出	62,524	58,652	3,872	
賃金支出	1,523	1,332	191	
福利厚生費支出	11,913	10,712	1,201	
会議費支出	60	60	0	
旅費交通費支出	2,879	2,579	300	
通信運搬費支出	1,083	1,083	0	
備品費支出	391	0	391	
消耗品費支出	8,368	8,250	118	
修繕費支出	23,705	20,433	3,272	
印刷製本費支出	687	327	360	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考	
中 科 目					
小 科 目					
	光熱水費支出	37,922	25,252	12,670	
	使用料及び賃借料支出	2,782	2,756	26	
	車両経費支出	2,472	2,407	65	
	保険料支出	2,134	2,169	△35	
	手数料支出	1,763	1,463	300	
	諸謝金支出	356	321	35	
	交際費支出	50	50	0	
	食糧費支出	50	50	0	
	宣伝広告費支出	12,081	12,266	△185	
	イベント費支出	4,088	3,514	574	
	委託料支出	16,522	15,993	529	
	原材料費支出	330	330	0	
	租税公課支出	11,785	9,609	2,176	
	負担金支出	1,233	1,233	0	
	外注費支出	0	0	0	
	雑支出	502	502	0	
	事業活動支出計 (B)	234,035	207,555	26,480	
	事業活動収支差額 (A) - (B)	21,918	18,835	3,083	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	40,100	34,887	5,213	
1 減価償却引当資産取崩収入	16,800	14,454	2,346	
2 修繕料積立資産取崩収入	23,300	20,433	2,867	
投資活動収入 計 (C)	40,100	34,887	5,213	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	43,898	39,125	4,773	
1 退職給付引当資産取得支出	1,898	2,125	△227	
2 減価償却引当資産取得支出	18,000	16,000	2,000	
3 修繕料積立資産取得支出	24,000	21,000	3,000	
② 固定資産取得支出	18,120	14,454	3,666	
1 建物付属設備購入支出	5,390	12,749	△7,359	
2 機械装置購入支出	12,210	1,705	10,505	
3 什器・備品購入支出	520	0	520	
投資活動支出 計 (D)	62,018	53,579	8,439	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△21,918	△18,692	△3,226	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他の財務活動支出	0	143	△143	
1 1年以内リース債務返済支出	0	143	△143	
財務活動支出 計 (F)	0	143	△143	
財務活動収支差額 (E) - (F)	0	△143	143	
当 期 収 支 差 額	0	0	0	

収 支 予 算 書 (法人会計)

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
⑤ 補助金等収入	12,474	11,052	1,422	
1 管理費補助金収入	12,367	10,899	1,468	
2 特定資産取得補助金収入	107	153	△46	
事業活動収入 計 (A)	12,474	11,052	1,422	
2 事業活動支出				
② 管理費支出	12,367	10,899	1,468	
1 一般管理費支出	12,367	10,899	1,468	
役員報酬支出	3,349	2,907	442	一般管理費支出の説明 人件費 8,301 光熱水費等施設管理費 2,179 財務会計システムリース料 729 税理士報酬等経費 596 その他経費 562
給料手当支出	3,855	3,892	△37	
福利厚生費支出	1,097	994	103	
会議費支出	20	20	0	
通信運搬費支出	23	23	0	
消耗品費支出	55	55	0	
光熱水費支出	2,179	1,439	740	
使用料及び賃借料支出	729	588	141	
保険料支出	119	121	△2	
諸謝金支出	596	515	81	
租税公課支出	332	332	0	
雑支出	13	13	0	
事業活動支出 計 (B)	12,367	10,899	1,468	
事業活動収支差額 (A) - (B)	107	153	△46	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入 計 (C)	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	107	153	△46	
1 退職給付引当資産取得支出	107	153	△46	
投資活動支出 計 (D)	107	153	△46	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△107	△153	46	
当期収支差額	0	0	0	

正味財産増減予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

○ 統括表

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増△減額	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
② 特定資産運用益	6	6	0	
特定資産受取利息	6	6	0	
③ 受取会費	9,100	8,155	945	
個人会員会費収益	8,100	7,155	945	
法人会員会費収益	1,000	1,000	0	
④ 事業収益	96,947	73,071	23,876	
教育事業収益	947	913	34	
水族館管理運営事業収益	94,500	71,158	23,342	
体験料収益	1,500	1,000	500	
⑤ 受取補助金等	173,140	167,950	5,190	
教育事業補助金	24,705	24,340	365	
水族館管理運営事業補助金	81,245	81,641	△396	
管理費補助金	12,367	10,899	1,468	
特定資産取得補助金	2,005	2,278	△273	
受取補助金等振替額	52,818	48,792	4,026	
⑥ 雑収益	51	51	0	
受取利息	1	1	0	
雑収益	50	50	0	
経常収益計	279,245	249,234	30,011	
(2) 経常費用				
① 事業費	267,063	238,752	28,311	
役員報酬	1,572	1,278	294	
給料手当	78,762	74,606	4,156	
臨時雇賃金	1,523	1,332	191	
退職給付費用	1,898	2,125	△227	
福利厚生費	14,922	13,603	1,319	
報償費	1,614	1,614	0	
会議費	60	60	0	
旅費交通費	2,972	2,688	284	
通信運搬費	1,207	1,207	0	
減価償却費	31,130	29,072	2,058	
消耗品費	9,207	9,116	91	
修繕費	23,705	20,433	3,272	
印刷製本費	731	371	360	
光熱水費	37,964	25,290	12,674	
使用料及び賃借料	3,625	3,614	11	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
車両経費	3,395	3,400	△5	
保険料	2,302	2,334	△32	
手数料	1,767	1,467	300	
諸謝金	356	321	35	
交際費	50	50	0	
食糧費	767	734	33	
宣伝広告費	12,081	12,266	△185	
イベント費	4,088	3,514	574	
委託料	16,522	15,993	529	
原材料費	330	330	0	
租税公課	11,785	9,609	2,176	
負担金	1,766	1,754	12	
外注費	0	0	0	
雑費	571	571	0	
② 管理費	12,961	11,562	1,399	
役員報酬	3,349	2,907	442	
給料手当	3,855	3,892	△37	
退職給付費用	107	153	△46	
福利厚生費	1,097	994	103	
会議費	20	20	0	
通信運搬費	23	23	0	
減価償却費	487	510	△23	
消耗品費	55	55	0	
光熱水費	2,179	1,439	740	
使用料及び賃借料	729	588	141	
保険料	119	121	△2	
諸謝金	596	515	81	
租税公課	332	332	0	
雑費	13	13	0	
経常費用計	280,024	250,314	29,710	
当期経常増減額	△ 779	△1,080	301	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 779	△1,080	301	
一般正味財産期首残高	245,666	245,962	△296	
一般正味財産期末残高	244,887	244,882	5	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	42,000	37,000	5,000	
一般正味財産への振替額	52,818	48,792	4,026	
当期指定正味財産増減額	△ 10,818	△ 11,792	974	
指定正味財産期首残高	261,423	231,837	29,586	
指定正味財産期末残高	250,605	220,045	30,560	
Ⅲ 正味財産期末残高	495,492	464,927	30,565	

正味財産増減予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

○ 会計区分表

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	1	0	1	1	0	
基本財産受取利息	1		1	1	0	
② 特定資産運用益	6	0	6	6	0	
特定資産受取利息	6		6	6	0	
③ 受取会費	9,100	0	9,100	8,155	945	
個人会員会費収益	8,100	0	8,100	7,155	945	
法人会員会費収益	1,000	0	1,000	1,000	0	
④ 事業収益	96,947	0	96,947	73,071	23,876	
教育事業収益	947	0	947	913	34	
水族館管理運営事業収益	94,500	0	94,500	71,158	23,342	
体験料収益	1,500	0	1,500	1,000	500	
⑤ 受取補助金等	160,666	12,474	173,140	167,950	5,190	
教育事業補助金	24,705	0	24,705	24,340	365	
水族館管理運営事業補助金	81,245	0	81,245	81,641	△396	
管理費補助金	0	12,367	12,367	10,899	1,468	
特定資産取得補助金	1,898	107	2,005	2,278	△273	
受取助成金	0	0	0	0	0	
受取補助金等振替額	52,818	0	52,818	48,792	4,026	
⑥ 雑収益	51	0	51	51	0	
受取利息	1	0	1	1	0	
雑収益	50	0	50	50	0	
経常収益計	266,771	12,474	279,245	249,234	30,011	
(2) 経常費用						
① 事業費	267,063	0	267,063	238,752	28,311	
役員報酬	1,572	0	1,572	1,278	294	
給料手当	78,762	0	78,762	74,606	4,156	
臨時雇賃金	1,523	0	1,523	1,332	191	
退職給付費用	1,898	0	1,898	2,125	△227	
福利厚生費	14,922	0	14,922	13,603	1,319	
報償費	1,614	0	1,614	1,614	0	
会議費	60	0	60	60	0	
旅費交通費	2,972	0	2,972	2,688	284	
通信運搬費	1,207	0	1,207	1,207	0	
減価償却費	31,130	0	31,130	29,072	2,058	
備品費	391	0	391	0	391	
消耗品費	9,207	0	9,207	9,116	91	
修繕費	23,705	0	23,705	20,433	3,272	
印刷製本費	731	0	731	371	360	
光熱水費	37,964	0	37,964	25,290	12,674	
使用料及び賃借料	3,625	0	3,625	3,614	11	

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
車両経費	3,395	0	3,395	3,400	△5	
保険料	2,302	0	2,302	2,334	△32	
手数料	1,767	0	1,767	1,467	300	
諸謝金	356	0	356	321	35	
交際費	50	0	50	50	0	
食糧費	767	0	767	734	33	
宣伝広告費	12,081	0	12,081	12,266	△185	
イベント費	4,088	0	4,088	3,514	574	
委託料	16,522	0	16,522	15,993	529	
原材料費	330	0	330	330	0	
租税公課	11,785	0	11,785	9,609	2,176	
負担金	1,766	0	1,766	1,754	12	
外注費	0	0	0	0	0	
雑費	571	0	571	571	0	
② 管理費	0	12,961	12,961	11,562	1,399	
役員報酬	0	3,349	3,349	2,907	442	
給料手当	0	3,855	3,855	3,892	△37	
退職給付費用	0	107	107	153	△46	
福利厚生費	0	1,097	1,097	994	103	
会議費	0	20	20	20	0	
通信運搬費	0	23	23	23	0	
減価償却費	0	487	487	510	△23	
消耗品費	0	55	55	55	0	
光熱水費	0	2,179	2,179	1,439	740	
使用料及び賃借料	0	729	729	588	141	
保険料	0	119	119	121	△2	
諸謝金	0	596	596	515	81	
租税公課	0	332	332	332	0	
雑費	0	13	13	13	0	
経常費用計	267,063	12,961	280,024	250,314	29,710	
当期経常増減額	△ 292	△ 487	△ 779	△1,080	301	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 292	△ 487	△ 779	△1,080	301	
一般正味財産期首残高	—	—	245,666	245,962	△296	
一般正味財産期末残高	—	—	244,887	244,882	5	
II 指定正味財産増減の部						
受取地方補助金	42,000	0	42,000	37,000	5,000	
一般正味財産への振替額	52,818	0	52,818	48,792	4,026	
当期指定正味財産増減額	△ 10,818	0	△ 10,818	△11,792	974	
指定正味財産期首残高	261,423	0	261,423	231,837	29,586	
指定正味財産期末残高	250,605	0	250,605	220,045	30,560	
III 正味財産期末残高	—	—	495,492	464,927	30,565	

令和5年度 資金計画書

(単位：千円)

受入資金		支払資金	
区 分	受入予定額	区 分	支払予定額
基本財産運用収入	1	事業費支出	209,035
特定資産運用収入	6	管理費支出	12,337
事業収入	95,247	特定資産取得支出	44,005
会費収入	9,100	固定資産取得支出	18,120
補助金等収入	162,322	未払金	25,030
雑収入	51	預り金	12,000
特定資産取崩収入	40,100		
未収金	1,700		
預り金	12,000		
合 計	320,527	合 計	320,527
		差 引	0